



2017年6月30日(金)～

2017年8月10日(木)の活動

○ 平成29年度第3回総合対策委員会

7月6日(木) 金沢市

平成29年度第3回総合対策委員会を開催し、13名の委員が出席した。

この日は「政府に対する北陸経済界からの要望書(案)」について審議し、了承された。

今回の要望書(案)については、総合対策委員会の下での政府要望検討ワーキングによる2回(5月、6月)の審議を経て、総合対策委員会に答申されたもので、北陸新幹線の整備促進をはじめとする様々な項目に加え、産学官連携の視点、女性活躍からの視点、地方創生の視点などを踏まえた要望事項について、活発な意見交換が行われた。(担当:鳥山)

○ とやま移住・転職フェア

7月9日(日) 東京都

東京交通会館(有楽町)にて行われた「とやま移住・転職フェア」(富山県主催)に、会員企業の(株)インテック、キタムラ機械(株)、(株)グループフィリア、(株)PCO、北陸コカ・コーラボトリング(株)の5社に参加いただき、女性部会の活動である「ひとり親家庭の北陸移住推進」の一環として出展した。

当日は、北陸(富山)への移住やUターンに関心のある方々がブースを訪ねて来られ、北陸の住みやすさ、働きやすさ、教育水準の高さ、出展企業の職場環境等に関する説明を興味深く聞いていた。また、就活中の親子には、出展企業から会社説明を行った。

(担当:鳥山)

○ 第335回常任理事会

7月14日(金) 金沢市

金沢市の金沢ニューグランドホテルにて、第335回常任理事会を開催し、久和会長をはじめ19名が出席した。

「政府に対する北陸経済界からの要望書(案)」について事務局から説明し、グローバル化に対応する人材育成に関し、国をまたぐ企業内転勤の自由化を要望に盛り込む修正を加えることとして要望書案は了承された。

また、役員交代、各委員会名簿、今後のスケジュール、2025日本万国博覧会誘致委員会への入会募集についての説明、報告が行われた。(担当:小山)

○ 北陸新幹線建設促進石川県民会議総会

7月23日(日) 金沢市

石川県地場産業振興センターにおいて、谷本石川県知事、馳衆議院議員ら石川県選出国會議員をはじめ、関西経済連合会の藤原リニア・北陸新幹線専門委員長および北経連久和会長など約1,000名が出席して開催された。

岡田参議院議員より情勢報告として、「すみやかに用地買収などに入れるように地元として準備すべきである。財源確保について、国費のみならずあらゆる手段を検討すべきである。一刻も早く関西までつないで、完全な北陸新幹線の実現を成し遂げる」など今後の大阪延伸に向けての抱負を述べた。

久和会長はあいさつの中で、「国の事業費拡大など安定的財源を確保し、敦賀開業より以前に事業認可を得て、用地買収に着手し2030年頃までの大阪全線整備の実現を求める」と述べた。

関経連の藤原委員長は、「関西経済界として一日も早い大阪開業を強く望む」と述べた。

(担当:本多)

○ 政府に対する要望活動の実施

7月24日(月)・25日(火) 東京都

北経連では、政府・与党、国土交通省、経済産業省をはじめとする関係省庁や北陸三県選出国會議員など合わせて200名以上に対し、2日間にわたって要望活動を実施した。

要望活動については、久和会長らが自民党細田総務会長、公明党の井上幹事長・漆原中央幹事会会長と面談。要望書に基づき、北陸新幹線や高規格幹線道路などの社会インフラの整備促進、原子力発電所の迅速な安全確認と早期運転再開、北陸地域の産業競争力強化や観光振興に向けた支援などを要望した。特に、北陸新幹線については、敦賀・大阪間における安定的財源確保による2030年頃までの一日も早い全線整備などを強く要望した。

また、山崎光悦金沢大学長、浅野邦子女性部会長(株)箔一取締役会長、森田弘美女性部会副会長(株)グループフィリア代表取締役社長)にも要望活動に参加していただき、それぞれ地方大学への支援やひとり親家庭の北陸移住に向けた支援等を要望した。

(担当:鳥山)

○ 第 22 回三経連経済懇談会

7月20日(木)・21日(金) 新潟市

三経連(北陸、北海道、東北の三つの経済連合会で構成)の経済懇談会が開催された。

今回は、「三地域から興す地方創生」を基本テーマに、新潟市で開催し、当会からは久和会長をはじめ16名が出席した。

懇談では、菱沼副会長が「北陸の産業振興」についての取り組みを、齊藤常任理事が「地域力の向上・広域観光振興」についての取り組みを紹介するなどし、活発な意見交換を行った。

この他、「地域産業の競争力強化」をテーマとする意見交換も行われ、当会からは北海道・東北の両経連に「ライフサイエンス産業」の連携を呼びかけた。また、「女性活躍推進」をテーマにした懇談では、森田女性部会副部会長から当会女性部会の活動を紹介したところ、東北経済連合会から女性経営者の会立ち上げを計画しており、当会女性部会の活動を参考にしたいとの申出があった。

最後に、5項目の要望事項(下記政府要望活動をご参照ください)をまとめた決議を採択し閉会した。

翌日はドローン技術の実地見学など、視察を行った。(担当:小山)

○ 三経連政府要望

7月25日(月) 東京都

第22回三経連経済懇談会での決議を受け、三経連は、政府および与党への要望活動を実施した。

北経連の久和会長、東北経済連合会の海輪会長、北海道経済連合会の高橋会長が、自民党細田総務会長、経産省井原政務官、国交省藤井政務官に面会し、次の5項目を要望した。

- ①地域産業の競争力強化
- ②定住人口増加に向けた施策への支援強化
- ③観光振興の強化
- ④広域連携と国土強靱化に資する社会資本整備の促進
- ⑤産業・生活に不可欠なエネルギー政策の推進

久和会長は、北陸新幹線金沢・敦賀間の早期開業、敦賀・新大阪間の2030年頃までの1日も早い全線整備などを強く要望した。(担当:小山)

今後の主な活動予定

□8月18日(金)

三県知事懇談会

<場所:ユアーズホテルフクイ>

□8月26日(土)~30日(水)

第18回北陸(日本)・韓国経済交流会議

<場所:韓国慶尚北道 安東市>

□9月22日(金)

会員懇談会(福井会場)

<場所:ザ・グランユアーズフクイ>

□10月4日(水)

第59回西日本経済協議会総会

<場所:ANAクラウンプラザホテル金沢>

○ 第4回北陸産学連携懇談会

および富山大学見学会

8月2日(水)

富山市

会員12大学との連携の一環として毎年実施している北陸産学連携懇談会を富山大学会議室にて、また大学見学会を富山大学五福キャンパス・杉谷キャンパスにて開催した。

午前の懇談会には富山大学遠藤学長をはじめ11大学から学長等と、久和会長をはじめ当会役員10名が参加した。冒頭事務局より、本年2月に実施した産学交流会や7月の政府要望活動について報告した。その後、「学生の地方定着について」をテーマに自由懇談を行った。懇談では、各大学におけるCO-C+事業の取り組みや外国人留学生の就職状況、学生および保護者に対する企業情報の周知などについて参加者全員が活発に意見を述べ合った。

午後からの富山大学見学会には、総合対策委員会、先端技術推進委員会のメンバーも加わり、約40名が参加した。工学部総合教育研究棟(五福キャンパス)にて、遠藤学長による大学の概要説明に引き続き、来春新設予定の「都市デザイン学部」、先端材料研究センター、芸術文化学部(公共用歩行車)、水素同位体科学研究センター、未病マーカー、極東地域研究センターの各責任者から研究内容の紹介があり、その場で質疑応答した。

その後、工学部総合教育研究棟、先端材料研究センター、和漢医薬学総合研究所(杉谷キャンパス)を見学した。(担当:木戸)

○ 講演会

8月7日(月)

金沢市

ホテル金沢において、講演会「シリコンバレーの動向とデザインシンキング~顧客視点の新たな価値創造~」を開催し約80名が聴講した。

SAP ジャパン(株)インダストリークラウド事業統括本部IoT/IR4ディレクター 村田聡一郎氏およびソリューション統括本部デジタル・インダストリー・ソリューション第4部カスタマイズソリューション プリンシパル 澄川幾美氏を講師に迎え、新しいアイデアを創出するための手法として注目されているデザインシンキングの考え方や手法、実際の適用事例などについて講演があり、熱心な質疑が行われた。

(担当:平田)